

■ 総括

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により4月より年度前半の事業はほぼ中止という状況になりました。7月には初めてを試みとして内視鏡部会がWebでの講習会を開催いたしました。その後も学術部の事業が開催できない中、渉外部が主に企画した事業(献血活動、手話講座等)や組織部の施設連絡者会をZoomやWebを活用して開催することができました。10月からは精度管理部がWebを使用して基礎統計学の勉強会「大臨技統計セミナー」を10回開催いたしました。12月に学術部の生理部門がWebでの講習会を開催し300人を超える視聴者がありました。会員の皆様が如何に学術部の講習会に大きな期待を寄せていることであり、今後講習会の開催をWebも含めた多方向で検討し環境を整備する必要があると思われます。会員の皆様の希望に対し役員が一丸となって全力で技師会活動に取り組み公益法人として名に恥じない事業を開催いたします。会員・賛助会員と行政との交流を目的とした2021年1月11日(祝)に予定の新年互礼会は中止になりました。また、第5回大臨技医学検査学会を2021年2月14日(日)に大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)で「結束そして前進united for future」というテーマで一般的な学会形式をとらず特別講演を中心とした形式で参加者も事前予約として対面形式での開催で準備をしていましたが、緊急事態宣言が解除されないため中止とさせていただきます。しかし、2022年5月に開催が決定した第71回

日本医学検査学会に向け今までの大臨技学会での若い力と力を合わせ、全国からの参加者の皆様の期待に添えるように頑張ります。学会を成功に導くには会員の皆様の協力無くしてありませんのでご支援よろしくお願いいたします。

2021年度は、社会状況を見据え事業の開催形式も変容させながら継続事業として、府民を対象とする渉外部が主催する府民公開講座、チーム医療推進事業、HIV予防啓発、がん検診啓発活動、さらに地域に貢献するため各自自治体の健康展への参加を推進します。生涯教育をはじめ学術部門の各種研修会、精度管理部のデータ標準化事業を推進します。組織部が主催する検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会や日臨技連携事業の地域ニューリーダー育成、認知症対応力向上講習会など組織力向上のための事業や地区関連事業、多職種と関連するチーム医療のための事業を開催します。新年互礼会(2022年)では行政や関連団体と当会の緊密な連携を築き、地域医療推進協議会関連団体と協力し大阪府民の健康に寄与し、各種フォーラムの開催など具体的な事業に引き続き取り組んでまいります。また、日本医学検査学会開催のための実行委員会を開催し、全国の臨床検査技師をおもてなすためにいろいろな企画を考え準備をしたいと思っております。2020年度(令和3年)第11回(2月)理事会および第12回(3月)理事会で承認された2021年度(令和3年度)事業計画・収支予算をご報告いたします。

事業分類

公1事業(公1)

府民に対して健康に関する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業

公2事業(公2)

臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業

公3事業(公3)

臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

他1事業(他1)

会員の相互扶助等事業

I 基本計画

公益法人としての事業を積極的に進める

- 府民を対象とした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の推進(公1)
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、看護の日、市民健康展、がん検診啓発活動、その他の公益事業を行う
- チーム医療の推進に貢献できる事業の開催(公2)
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養指導、その他、多職種がチームで医療を行う公益事業を行う
- 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催(公2、他1)
新人技師、中堅技師、管理職技師に役に立つ研修や情報の提供を行い、学術技能の研鑽をする事業を行う
- 精度保証事業(データ標準化を含む)の推進(公3)
日臨技とタイアップして大阪府下の検査施設の精度保証事業を進める
- 臨床検査技師による臨床検査の説明・相談ができる環境を支援する(公2)
- 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業(公2)
教育機関の教員の方々と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う

II 事務局

1. 総務庶務部

- 組織運営の充実(他1、法人管理)
 - 定款、諸規程等の管理
 - 総会、理事会および各種委員会の開催
 - 各種表彰の充実
 - 各教育機関との連携
- 事務体制の強化(他1、法人管理)
 - 会員管理システムの充実
 - 大臨技会員証の管理
 - 大臨技登録学生の管理

(4) 大阪府への各種報告

3. 府民ならびに関連団体との交流の推進

- 府民への情報公開(他1、法人管理)
- 他団体との情報共有(公1~3、法人管理)
- 大阪府地域医療推進協議会への参画(他1、法人管理)
- 新年互礼会の開催および運営(他1)

2. 広報編集部

- 会員への広報の充実(他1)
 - 大臨技ニュースの発行
 - 大臨技ホームページのリニューアルおよび更新
 - 月間行事予定表の作成
 - 大臨技行事スケジュールの管理

III 財務局

1. 財務管理の充実(他1、法人管理)

IV 事業局

1. 学術部

- 公益事業としての部門別研修会・講演会の開催、これらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催(公1~3)
- 他の事業部の企画への協力(公1~3)
- 他団体(大阪府診療放射線技師会、大阪府薬剤師会、大阪府栄養士会、大阪府看護協会等)との学術交流活動への協力(企画への参加、講師推薦)(公1)
- 大臨技医学検査学会の開催および運営(公2)

2. 組織部

- 地域の会員相互の交流強化(他1)
施設連絡者会
- 地域オープンセミナーの開催(各地区1回/年)(公2)
- 新人を対象とした研修会(他1)
新入会員および未入会者を対象に技師会活動や臨床検査技師としての理解を深めるための研修会
- 技師長会(他1)
検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる
- 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催(公2)
- 府下教育機関と共同事業(大臨技教育セミナー)を開催(公2)
- 日臨技事業の地域展開
地域ニューリーダー(他1)、認知症研修会(公2)
- その他(公2)
チーム医療部門との連携により、技師のチーム医療への参画を支援

- (1) 糖尿病療養指導部会
 ①糖尿病療養指導定例勉強会
 テーマ：糖尿病療養指導の充実と指導士取得の啓発
 ②糖尿病療養指導士講演会
 テーマ：多様化する糖尿病治療において糖尿病療養指導士の役割を考える
- (2) ICT 部会
 定期講習会
 テーマ：感染症の基礎知識
 テーマ：新型コロナウイルス感染症と院内感染対策
- (3) NST・褥創部会
 テーマ：NST・褥瘡に関するもの（予定）
- (4) 内視鏡検査部会
 ①多職種公開講座・内視鏡検査バーチャル施設見学及び実技講習会
 テーマ：内視鏡検査の基礎とスコープおよび関連機器操作
 ②WEB 勉強会
 テーマ：内視鏡検査に関する臨床検査・専門技術知識習得

3. 渉外部

- 1) 献血推進への協力（他1）
 2) 障がい者に対する理解と協力（公2）
 手話講演会
 3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力（公1）
 大臨技・大放技合同フォーラム、府民健康フォーラム、がん検診啓発活動（大臨技がんフォーラム他）、看護フェスタおおさか、健康展（吹田、摂津、豊中）、HIV 予防啓発、全国検査と健康展

4. 精度管理部

- 1) 臨床検査データ標準化サーベイ（公3）
 新鮮血を試料としたサーベイを実施することにより、施設間差是正を推進するとともに、精度保証施設認証の取得を目指す。
 2) 大臨技実務統計セミナー（公2）
 精度管理に関する正しい知識、技術を習得するための統計セミナー（8回シリーズ）を実施する。新型コロナウイルス感染状況が改善すれば対面と遠隔でセミナーを実施する。

2021年度 収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(公社)大阪府臨床検査技師会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	—
会費収益	24,050,000	23,900,000	150,000
事業収益	13,275,000	19,822,000	△6,547,000
受取補助金等	1,500,000	1,500,000	—
雑収益	800,000	1,500,000	△700,000
経常収益計	39,626,000	46,723,000	△7,097,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,875,000	5,250,000	△375,000
福利厚生費	750,000	862,500	△112,500
旅費交通費	3,061,535	3,878,485	△816,950
会議費	3,046,559	3,502,501	△455,942
通信運搬費	2,253,273	2,245,726	7,547
消耗品費	1,193,614	2,292,856	△1,099,242
印刷製本費	3,808,492	4,341,492	△533,000
光熱水費	189,000	156,000	33,000
会場費	4,412,000	6,081,711	△1,669,711
諸謝金	6,037,359	8,843,118	△2,805,759
広報費	911,000	518,000	393,000
研修会費	—	60,000	△60,000
賃借料	2,667,000	2,040,000	627,000
支払負担金	250,000	230,000	20,000
減価償却費	700,000	—	700,000
支払手数料	42,000	52,870	△10,870
雑費	63,000	46,058	16,942
管理費			
給料手当	1,625,000	1,750,000	△125,000
福利厚生費	250,000	317,500	△67,500
旅費交通費	100,000	179,410	△79,410
会議費	327,941	490,000	△162,059
通信運搬費	362,727	397,273	△34,546
消耗品費	400,000	800,000	△400,000
印刷製本費	900,000	900,000	—
光熱水費	81,000	114,000	△33,000
諸謝金	276,000	520,000	△244,000
広報費	200,000	77,000	123,000
賃借料	1,038,000	1,402,000	△364,000
支払手数料	50,000	50,000	—
雑費	280,000	280,000	—
経常費用計	40,150,500	47,678,500	△7,528,000
当期経常増減額	△524,500	△955,500	431,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	—	—	—
(2) 経常外費用	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△524,500	△955,500	431,000
一般正味財産期首残高	20,815,853	21,771,353	△955,500
一般正味財産期末残高	20,291,353	20,815,853	△524,500
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	—	—	—
指定正味財産期首残高	—	—	—
指定正味財産期末残高	—	—	—0
III 正味財産期末残高	20,291,353	20,815,853	△524,500